

事務事業名		教育相談事業		会計	一般会計		事業種別		政策	開始	10	終了		
課等名	学校教育課	係等名	学務係											
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり											
	施策	22	義務教育の充実											
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校児童生徒										対象指標	指標名及び単位	24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	いじめ・不登校・障がい・問題行動等の教育相談に対応することができる。											児童生徒数(5/1現在)	9166
	向上させたい上位施策の成果指標	いじめの発生件数												
目標	種別	指標名及び単位						24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	相談員数						2	2	2	2			
	成果指標	教育相談件数						80	88	80	80			
	定性目標													
事業概要	市の教育相談機能の中核として教育相談室を運営し、いじめ、不登校、障がい、問題行動等の対応にあたるとともに、心身に障害のある来入児・児童生徒の就学相談を行う。													
	※「教育支援指導主事配置事業」「心身障害児適正就学指導事業」を統合													
24年度事業内容	事業内容						名称				活動指標			
	1 教育相談員を配置し不登校や支援が必要な児童生徒の就学などの教育相談、就学判断を実施する。 2 関係機関との連絡会議を開催するとともに、相談員と学校教育課の教育支援指導主事統括が中心となって、処遇困難な個別事案の対応、学校と関係機関との連携支援体制の強化を図る。						1 (1)相談受付件数 (2)相談員配置数 (3)就学判断件数 2 連絡会開催回数				1 (1) 88件 (2) 2人 (3) 205人 2 15回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		8,802	10,029	9,790	8,560	(県)笑顔で登校支援事業補助金(補助率1/2)								
国庫支出金														
県支出金		194	273	443	0									
起債														
その他														
一般財源		8,608	9,756	9,347	8,560									
人件費計(千円)②		72		72										
正規職員所要時間		20		20										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		8,874	10,029	9,862	8,560									
事業内容・目標達成状況の振り返り	不登校や教育に係る諸問題を解決するために相談員を配置し、様々な相談に対応することにより、問題を抱える児童生徒やその家庭に対する教育の充実につなげることができた。													
改革改善の考え方	①問題点	問題が複雑化多様化しており、相談室の充実が求められている。												
	②改革提案	相談室への保健福祉医療の専門職配置又は児童生徒家庭の相談窓口の一元化などについての検討が必要と考える。												